

46 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』の分野別計画である「みどりの風吹くまちにあ・そ・ぶ～練馬区学びと文化の推進プラン～(27年6月策定)」に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

29年度は、「みどりの風 練馬薪能」を開催したほか、冊子「-夢の工場- ねりま・映画・ものがたり 練馬と映画、アニメーションの歴史」の作成を行った。また、美術館の再整備のため、周辺施設を含めた改修の方向性について検討を進めた。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

●公益財団法人練馬区文化振興協会

区民の自主的な文化活動の促進を図り、豊かな区民文化の創造に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、平成24年4月に公益財団法人に移行した。

28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎え、石神井公園ふるさと文化館、美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術の発信に努めている。

1 区民文化の向上および振興のための事業の実施

(1) 地域活動事業 (7事業)

- ① アトリウムミニステージ
- ② まちなかコンサート
- ③ 親子で楽しむミュージックキャラバン
- ④ 演奏家派遣事業
- ⑤ 演奏家あっせん事業
- ⑥ 区立小学校狂言師派遣事業
- ⑦ 地域イベントへの参加

(2) 練馬区文化振興協会友の会事業

会員数 1,370人 (29年度末現在)

2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業の実施

(1) 区民参加事業 (8事業)

- ① 森と劇場のサーカスフェスタ

- ② 小学生向けワークショップ

- ③ 映画ワークショップ

- ④ チェンバロ ロビーコンサート

- ⑤ 練馬区独立70周年記念コンサート真夏の第九

- ⑥ 演劇ワークショップ

- ⑦ 朗読×ピアノ×ダンス「マイライフ・マイステージ」(区民参加劇)

- ⑧ ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス「ねりパフォ2018」

(2) 人材育成活用事業 (5事業)

- ① 練馬区ジュニア・オーケストラ

- ② ワンコイン・コンサート

- ③ 第32回練馬区新人演奏会(ピアノ・金管楽器部門)

- ④ 練馬区演奏家協会事業

- ⑤ 練馬区演奏家協会運営支援事業

(3) 連携支援事業 (4事業)

- ① 区内三大学連携事業

- ② 練馬交響楽団の活動支援

- ③ 舞台芸術支援事業

- ④ 文化活動支援補助事業

(4) 情報発信事業

3 練馬区から受託する文化芸術振興に関する事業の実施(3事業)

- (1) みどりの風 練馬薪能

- (2) みどりの風 練馬薪能プレセミナー ～能・狂言をたのしむ～

- (3) Nerima ユニバーサルオーケストラコンサート

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

平成29年度は指定管理業務として音楽、伝統芸能などの公演事業を実施している。(30事業)

- ・伝統芸能事業 (4事業)

- ・音楽事業 (13事業)

- ・こどもみらい事業 (4事業)

- ・演劇事業 (2事業)

- ・映画事業 (1事業)

- ・演芸事業 (4事業)

- ・その他 (2事業)

〔練馬文化センターの利用状況〕

29年度

	入場者数(人)	利用件数(件)※
大ホール	266,971	343
小ホール	115,967	356
ギャラリー	9,660	162
リハーサル室	51,445	1,445
集会室	15,783	718
計	459,826	3,024

※：延べ利用団体件数

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、14年2月に開館した。

29年度は指定管理業務として音楽、映画などの公演事業を実施している。(5事業)

- ・音楽事業(1事業)
- ・映画事業(2事業)
- ・演芸事業(2事業)

〔大泉学園ホールの利用状況〕

29年度

	入場者数(人)	利用件数(件)※
ホール	46,541	512
ギャラリー	10,884	166
計	57,425	678

※：延べ利用団体件数

●美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

1 展示事業

年間4～5回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕

29年度

展覧会名	会期	観覧者数(人)
19世紀パリ時間旅行 —失われた街を求めて—	4/16～6/4 (43日間)	15,804
生誕110年記念 漆の画家 太齋春夫展	6/9～7/14 (31日間)	3,296
生誕150年記念 藤島武二展	7/23～9/18 (50日間)	16,869
没後20年 麻田浩展 —静謐なる楽園の廃墟—	9/28～11/19 (46日間)	7,986
小野木学 絵本原画展 ぼくの中のコドモ	11/26～2/11 (62日間)	11,044
練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治収蔵作品展	12/20～12/27 (7日間)	1,360
サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法	2/22～4/15 (46日間)	22,365

2 教育普及事業

展覧会関連講座をはじめ、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象にした学芸員による作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。平成29年度末の全所蔵数(寄託含む)は7,430点である。

4 美術の森緑地

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を活かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」(区指定文化財)を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター93人が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。29年度は、分室を含め延べ242,036人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関

する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか幅広い視野からテーマを設定した特別展を、29年度は6回開催した。

【特別展】		29年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
映画に魅せられた文豪・文士たち—知られざる珠玉のシネマガイド—	4/22～6/11 (44日間)	3,543
【分室】デビュー30周年記念—いとうひろし展—みつげよう、わくわくのタネ	7/16～10/15 (79日間)	13,785
描かれた練馬—変わる風景・変わらない風景—	9/16～11/5 (44日間)	3,208
見て、触れて、撮って楽しむ—トリックアートの世界—	12/9～1/21 (33日間)	9,469
生誕90年記念 藤沢周平展	2/10～4/1 (44日間)	5,424
【分室】生誕90年記念 藤沢周平と練馬展	2/10～4/1 (44日間)	7,763

注：分室は無料展示

(3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を、29年度は3回開催した。

【企画展】		29年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
【分室】生きて、食べて、書いた。—作家と食	4/15～7/8 (73日間)	6,975
独立70周年—練馬区誕生への軌跡—	6/24～8/15 (45日間)	6,537
【分室】作家の手紙	10/21～2/3 (86日間)	7,709

注：いずれも無料展示

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業、親子での触れ合いを楽しめる催しなどを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化に関わる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を「生涯学習センター」と変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設として整備した。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は、区民の自主的な活動場所として利用されている。

1 地域活動を行う人材の基盤づくり

(1) 練馬En(エン)カレッジ

地域活動やボランティアの入口となる各課実施の講座を取りまとめた「講座ラインアップ」を年1回発行している。その他、地域活動へのきっかけを目的とした「講演会」「地域講座」、地域活動上の共通課題を学ぶ「共通講座」などを実施している。



【Enカレッジ講座ラインアップ】
各講座の内容や実施状況等を紹介している。

(2) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、練馬Enカレッジの受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。29年度の履修生は13人だった。

2 生涯学習団体等の支援

(1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。29年度末現在、1,548団体が、区に届出されている。

(2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

3 生涯学習情報の提供

(1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。29年度末現在で、74講座が登録されている。

(2) 学びと文化の情報サイト（あ・そ・ぶサイト）

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供するサイトとして、29年5月に開設した。

4 各種事業実施状況

29年度

事業名	実施状況	
練馬En（エン）カレッジ	共通講座	4回 45人受講
	地域講座	4地域 延べ221人受講
	講演会	1回 235人受講
縁ジョイ倶楽部	17講座 延べ592人受講	講演会1回 67人受講
気になる時局解説	2回 延べ148人受講	
盆踊り講習会	2回 延べ197人受講	
練馬児童合唱団	在団生 65人	定期演奏会1回 753人入場
サークル文化祭	舞台発表会	2日 延べ935人入場
	作品展	3日 延べ1,381人入場
区民文化祭	参加団体 17団体	8,523人参加
寿大学通信講座	書道・俳句2科目	延べ6,620人受講
	スクーリング	5回 延べ132人受講
	書初め展	1回 書道179点 俳句156句 出品
公開講座	4大学 延べ533人受講	
区民将棋大会	1回	137人参加
区民囲碁大会	1回	81人参加

5 施設貸出状況

〔生涯学習センターの利用状況〕

29年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
ホール	437	62,015
第一会議室	557	5,128
第二会議室	511	4,828
第一教室	793	16,132
第二教室	614	6,634
第三教室	637	8,901
和室（大）	589	6,333
和室（中）	443	4,095
和室（小）	481	3,570
美術工芸室	470	4,493
視聴覚室	797	15,665
調理実習室	199	2,435
陶芸室	324	1,518
保育室	298	2,715
合計	7,150	144,462

〔生涯学習センター分館の利用状況〕

29年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
講座室1	262	2,500
講座室2	140	1,421
講座室3	414	4,073
講座室4	335	3,918
講座室5	402	7,436
講座室6	158	1,429
講座室7	150	1,228
講座室8	127	2,395
講座室9	85	1,828
和室	82	656
料理室	26	489
工作室	248	2,419
美術室	386	2,816
音楽室1	674	10,239
音楽室2	558	5,329
陶芸室	467	2,275
保育室	80	908
合計	4,594	51,359

※：学習室利用人数…6,791人

●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園を実施するなど、サービスの向上に努めている。

〔向山庭園の利用状況〕

29年度

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
茶室	581	3,764
和室 (第1)	601	4,140
和室 (第2)	707	4,759
和室 (第3)	521	5,844
多目的室	618	4,840
日本庭園	6	74
庭園見学者	—	19,552
計	3,034	42,973

●学習の機会の充実

現代社会のさまざまな人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

- ・地域ふれあい講座 (5回実施、64人参加)

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に、区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。

1 校庭開放

29年度末現在、全小学校65校の校庭を開放している。29年度は、全校で延べ1,120,549人の利用(うち個人利用749,797人、団体利用370,752人)があった。

2 学校図書館開放

地域住民に対して、小学校図書館(室)を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

29年度末現在、42校を開放し、蔵書数は248,216冊である。29年度は延べ197,254人の利用があり、53,566冊を貸し出した。

また、13年度からは区立図書館資料の検索ができる端末を設置した。29年度時点では、4校で予約・貸出しを行っている。29年度は1,962冊の貸出しがあった。

3 教室開放

小学校の余裕教室を地域住民の身近な学習・文化・レクリエーションの場として開放している。

29年度は、18校で41施設を開放し、2,312件、延べ44,189人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、小・中学校体育施設(体育館・プール)の開放を行っている。

〔利用状況〕

29年度

	実施校数	利用者数 (延べ)
学校体育館開放	小・中学校38校	242,270人
学校プール開放	小学校8校 (夏休み期間)	3,231人

5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほか、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、25年6月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

1 施設の充実

(1) 図書館 (12館)

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室 (1分室)

南大泉図書館分室 (こどもと本のひろば)

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口 (6か所)

高野台、豊玉、石神井公園駅、大泉学園駅、北町、上石神井

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる(高野台を除く。)

2 利用の促進

「東京都公立図書館調査 (28年度実績)」によると、図書館資料の個人貸出資料点数および個人予約資料点数は、ともに23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートやカードを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催した。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）」を27年9月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

(1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業（赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す）（29年度4,418セット配付）
- ・「本の探検ラリー」（クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント）

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成（29年度16団体841冊）

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 29年度

催し物名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	1,013回	20,323
おたのしみ会	32回	1,559
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	32回	1,232
本の探検ラリー（小・中学校開催）	延べ63校	7,029

4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理者が運営する館では、学校支援モデル事業として、以下のような支援を行っている。

29年度は、区内の小・中学校72校に対して実施した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理

- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある方へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出しするサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔サービスの状況〕

29年度

項目	点数等	
製作録音資料数	2,693点	
対面朗読実施時間	延べ2,320時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	4,601点	
布の絵本製作数	36点	
催し物名	実施数（回）	参加者数（人）
音訳者等養成講習会	12	延べ209
布の絵本製作講習会	8	延べ133

6 図書館情報システム

貸出し・返却・予約などの業務を行うシステムで、年間670万点を超える資料貸出しに対応している。

また、資料検索機やパソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕

29年度

項目	点数等
予約点数（個人）	1,878,241点
うちインターネットからの予約点数（個人）	1,504,887点
予約点数に占めるインターネット予約割合	80.1%

〔図書館の利用状況等〕

29年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人貸出 予約数 (点)	団体貸出 予約数 (点)	協力貸出 予約数 (点)
光が丘		41,824	250	709,510	1,121,328	14,057	4,898	253,777	1,242	2,473
練馬		29,794	144	533,940	622,567	11,306	700	179,226	3,909	650
石神井		26,318	112	362,312	599,216	11,777	1,050	118,832	2,662	850
平和台		16,808	165	276,857	496,178	18,021	539	122,553	6,716	476
大泉		20,163	174	318,297	512,366	20,178	741	112,781	15,098	663
関町		13,923	187	280,468	464,601	10,195	344	138,518	4,899	111
貫井		22,646	86	761,795	579,384	12,236	602	172,696	4,793	615
稲荷山		6,496	92	123,351	193,292	11,781	270	41,316	2,649	325
小竹		12,031	89	238,066	379,654	10,606	309	116,985	3,803	302
南大泉		10,614	86	228,128	394,348	9,931	230	96,329	6,224	206
南大泉分室		2,827	17	69,183	118,350	1,759	15	20,277	56	11
春日町		13,011	82	385,774	487,351	10,444	373	124,979	4,528	330
南田中		7,152	119	224,699	331,234	11,881	322	76,371	1,050	293
全館合計		223,607	1,603	4,512,380	6,299,869	154,172	10,393	1,574,640	57,629	7,305
高野台受取窓口		59	—	—	27,597	—	—	23,977	—	—
豊玉受取窓口		162	—	—	41,774	—	—	34,801	—	—
石神井公園駅受取窓口		403	—	—	145,125	—	—	124,718	—	—
大泉学園駅受取窓口		1,301	—	—	116,666	—	—	96,069	—	—
北町受取窓口		86	—	—	8,769	—	—	8,430	—	—
上石神井受取窓口		67	—	—	16,777	—	—	15,606	—	—
合計		225,685	1,603	4,512,380	6,656,577	154,172	10,393	1,878,241	57,629	7,305

〔図書館の所蔵資料〕

29年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		320,562	14,569	20,896	6,506
練馬		151,489	3,848	11,236	1,172
石神井		199,125	3,013	7,987	—
平和台		135,850	4,160	7,357	—
大泉		218,686	3,601	8,523	—
関町		127,522	5,447	6,437	—
貫井		130,847	4,400	7,699	—
稲荷山		87,106	3,332	4,840	—
小竹		86,581	2,423	7,782	—
南大泉		73,037	1,990	5,055	—
南大泉分室		24,754	230	0	—
春日町		117,137	2,989	9,554	—
南田中		105,649	2,560	5,881	—
合計		1,778,345	52,562	103,247	7,678

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。平成29年度は新規の登録文化財が2件であった。

(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の218～219ページを参照)



〔29年度に新規登録された五十嵐家文書の一部〕



〔29年度に新規登録された千川堤植櫻楓碑
(せんかわつつみしよくおうふうひ)〕

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

29年度は、遺跡地で工事を行う届出が89件、通知が2件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が74件、発掘調査が1件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。29年度は10月28日～11月5日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・尾崎遺跡出土品解説会

11月5日開催 25人参加

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

- ・石神井城跡発掘パネル展

10月28日～11月5日開催

- ・東京9区文化財古民家めぐり

3 刊行物の発行

29年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年2回）
- ・埋蔵文化財調査報告 32
- ・-夢の工場-ねりま・映画・ものがたり 練馬と映画、アニメーションの歴史

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。29年度は、移設1件、修繕10件、撤去1件を実施し、総数175件となっている。また、道標は28か所に設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。29年度は、本覚寺・長命寺・本立寺の3か所で、一斉放水等の訓練を行い、249人の参加があった。

●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。平成29年度は延べ134人が来室した。

(4) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

活気あふれるまち“ねりま”を目指すことを基本理念とし、26年3月に「練馬区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

これに基づき、区民体育大会、初心者スポーツ教室などを実施している。また、この中では、新たに「スポーツが持つ力の地域への活用」を掲げ、地域を活性化させるイベントの実施と、スポーツを通じた地域コミュニティを活性化させる取組を進めることを加えた。

〔スポーツ事業〕

29年度

区 分		内容および参加人数 (人)	
各種大会	区民体育大会	37 種目	20,772
		総合開会式	699
	都民大会	32 種目	556
	都民生涯スポーツ大会	17 種目	197
	城北地区競技会	6 種目	298
	少年野球大会	63 チーム	998
	女性スポーツ大会	3 種目	1,241
	都民スポレクふれあい大会	3 種目	69
	城西ブロックスポーツ交流大会	5 種目	262
東京都魚釣選手権大会	フナ釣、ハゼ釣	13	
野外活動	区民歩行会	6月10～11日実施 軽井沢タリアセン・ 塩沢湖	83
		10月22日 神奈川県箱根町	中止
	わんぱくキャンプ	7月21～23日実施 武石栗栗キャンプ場	70
初心者スポーツ教室	30 種目 73 教室	5,240	
夏休み水泳教室	3 校	172	
少年少女スポーツふれあいひろば	2月17日実施	242	
体育の日記念行事	10月9日実施 総合体育館ほか7会場	23,073	
なりま光が丘ロードレース	11月12日実施	1,812	

●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率をさらに高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 スポーツ推進委員

事業実施に係る連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行うことを目的に、30年4月1日現在、26人のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な活動として、年2回の区民歩行会や小学生を対象としたわんぱくキャンプなど、地域に向けて、さまざまなイベントを企画・実施している。また、近年では、区内スポーツ関係団体が連携・協力して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、障害者スポーツの普及・紹介も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。29年度末現在、671人が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブの育成

24年3月に策定された、国の「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する
- ・クラブの活動拠点となる施設を持っている
- ・複数種目の活動が楽しめる
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる
- ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供されるなどの特徴とした、地域スポーツクラブづくりを目指している。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立した運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ（SSC）〕

29年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	14年8月24日	24,285
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	14年9月5日	8,213
NPO法人スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	14年12月17日	13,742
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	14年10月4日	28,288
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	14年9月10日	9,073
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	14年8月13日	55,111
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブプラッツ(SSC豊玉・中村)	21年2月21日	27,401

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

29年度は、「大泉学園町希望が丘公園運動場（庭球場）」に照明を設置したほか、北大泉野球場の防球フェンスをかさ上げする工事を行った。

29年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場6面、庭球場30面、多目的運動場6面、競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場1か所である。

〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 29年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町 体育館	光が丘体育館	中村南スポーツ 交流センター
個人利用	38,527	10,130	50,702	52,750	48,177	36,544	38,082
登録団体利用	48,238	27,581	27,096	20,930	19,444	24,138	18,772
連盟・SSC	34,843	2,436	5,816	23,849	20,517	37,768	25,681
大会・事業等	19,342	4,062	6,412	5,527	6,150	24,303	928
自主事業	—	—	6,148	3,242	5,075	5,905	31,057
健康体力相談等	—	—	—	—	—	205	—
トレーニング室	38,760	—	40,066	31,780	40,724	75,759	60,949
合計	179,710	44,209	136,240	138,078	140,087	204,622	175,469

注：①トレーニング室には説明会参加者を含む。

②光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

〔プールの利用状況〕

(単位：人) 29年度

施設名 区分	上石神井 体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール	大泉学園町 体育館 温水プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	82,383	79,100	70,139	120,698	133,798	73,747	41,957
登録団体利用	9,878	3,021	8,953	11,290	6,422	16,569	—
連盟・SSC	2,478	5,581	13,151	3,225	17,079	5,316	—
大会・事業等	2,566	675	493	3,559	2,855	960	—
自主事業	2,116	4,458	43	1,613	6,170	2,611	—
障害者専用コース	1,107	780	1,073	1,185	1,164	695	—
合計	100,528	93,615	93,852	141,570	167,488	99,898	41,957

〔屋外施設の利用状況〕

29年度

区分	施設名(面)	利用数 (人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 21,608
	高野台運動場(庭球場)	4 15,560
	びくに公園庭球場	2 5,819
	土支田庭球場	7 40,867
	夏の雲公園庭球場	4 38,362
	大泉学園町希望が丘公園運動場 (庭球場)(※1)	3 5,447
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 45,034
成人 野球場	学田公園野球場	1 12,751
	高野台運動場(野球場)	1 8,425
	北大泉野球場(※2)	2 9,676
	東台野球場	2 17,927
少年 野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 27,414
	練馬総合運動場(野球場)	2 26,156
運動場等 (サッカー・ ラグビー・ グラウンド ゴルフ等)	練馬総合運動場(※3)	8,254
	大泉運動場(※4)	35,856
	大泉さくら運動公園多目的運動場	74,512
	大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動広場)	7,225
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	36,498
	びくに公園多目的広場	11,837
	総合体育館東側多目的広場	845

※1：大泉学園町希望が丘公園運動場(庭球場)は照明設置工事のため29年10月1日から30年3月31日まで休場

※2：北大泉野球場は防球フェンスかさ上げ工事のため29年11月1日から30年3月31日まで休場

※3：練馬総合運動場の競技場およびゲートボール場は改修工事のため29年7月28日から休場中(31年3月31日まで予定)

※4：29年4月1日、関越自動車道高架下に大泉運動場を開設

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力のさらなる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、26年度から開催している。

29年度の第4回大会から、小学生親子と中学生を対象としたマイルランを正式種目として実施した。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン2018 ロゴ〕
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

〔開催状況〕

ハーフマラソン種目

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26	30.3.25
開催時天気	晴	晴	雨	晴
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人	5,423人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人	4,807人
完走者数 (完走率)	4,464人 (95.5%)	4,478人 (97.3%)	3,899人 (97.0%)	4,510人 (93.8%)

注：オープン参加を含む。

マイルラン種目

		第3回	第4回
エントリー数	中学生の部	150人	100人
	小学生とペアの部	330組 660人	296組 592人
当日出走者数	中学生の部	100人	83人
	小学生とペアの部	約200組	269組 538人

注：第3回は試行実施

●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

32年7～9月に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）が開催される。

東京2020大会では、練馬区、朝霞市、新座市、和光市の1区3市にまたがる陸上自衛隊朝霞訓練場で、射撃競技が行われる。

区では、東京2020大会に向けて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や都と連携を図るとともに、区民や地域活動団体と協働で機運醸成に取り組む。

- (1) 区ゆかりのオリンピック、パラリンピアンとの協力を得ながら、区民が一流のプレーを見たり、選手の話をお聴く機会を設けるとともに、各競技種目の紹介や体験会を開催する。
- (2) イベントなどにおいて東京2020大会に向けた情報を発信するとともに、大会2年前、500日前などの機会を捉えて機運醸成事業を実施する。
- (3) ユニバーサルスポーツフェスティバルや世界都市農業サミットなど、各施策と連動して取組を推進する。